

平成 1 0 年度試験研究成果

区分	普及	題名	平成 1 1 年度農作物病害虫・雑草防除基準に採用した牧草用殺虫剤		
[要約] 牧草における害虫（ムギダニ）の殺虫剤として『MEP剤』の効果が確認されたので農作物病害虫・雑草防除基準に採用した。					
キーワード	牧草用殺虫剤	ムギダニ			畜産研究所 飼料生産研究室

1 背景とねらい

ムギダニによる牧草への被害は、以前から発生が認められていたが、平成 7 年以降福島県内で確認され初め、平成 9 年には東北各地へも被害地域が拡大され自給飼料の安定生産を図る上での問題となった。

しかし、当初牧草地でのムギダニ防除のための薬剤は登録されていなかったため、対応方法がない状態であった。今回牧草地におけるヨコバイ類、アブラムシ類等の防除農薬として登録されていたスミチオン乳剤がムギダニにも適用拡大登録され防除効果も確認されたので普及に供する。

2 技術の内容

- (1) 除草剤名 商品名:スミチオン乳剤
 剤型:乳剤
 毒性:人畜毒性 普
 魚毒性: B

(2) 処理時期及び処理量

作物名	病害虫	防除期	防除方法	留意事項
イネ科牧草	ムギダニ	4月上旬～5月 10月、ダニ発生期	1000倍液 100ℓ	1.ムギダニの活動が活発な曇天の日や夕方等気温の低い時に散布する。

3 普及上の留意事項

- (1) 殺虫剤を散布した場合は家畜には 2 週間程度経過してから刈り取り給与する。

4 技術の適応地帯 県下全域

5 当該事項に係る試験研究課題

[草地飼料 2] 1 - (1) - イ 草地におけるムギダニ防除法の確立

6 参考文献・資料

- (1) 平成 1 0 年度 東北農業研究

7 試験成績の概要

(1) 岩手農研センター畜産研究所

場所:滝沢村滝沢地域 耕種概要:オーチャドグラス主体草地

供試薬剤:スミチオン乳剤 1000倍液 10a 100ℓ 薬剤散布日:4月16日

ムギダニ生息数 (頭/㎡)

	4月21日	4月27日
無処理	1,255	4,033
薬剤処理	100	1,333

表-1 薬剤による防除試験の方法

区分	場所	処理日	処理前調査	処理後調査	耕種概要	区制・面積
試験1	安達郡大玉村玉ノ井地域	4/23	4/23	4/30(7)*	オーチャードグラス主体草地	1区10a
試験2	二本松市岳地域	11/19	11/19	11/28(9)	"	1区50㎡ 2区制
試験3	伊達郡川俣町山木屋地域	11/28	11/28	12/9(11)	"	1区50㎡ 3区制
試験4	草地試験場内草地	11/20	11/19	11/25(5)	イタリアンライグラス草地	1区7.6㎡ 2区制
試験5	東北農業試験場内草地	11/14	11/13	11/20(7)	ケンタキープルグラス主体草地	1区25㎡ 2区制
試験6	青森県むつ市奥内牧野	11/10	11/10	11/18(8)	オーチャードグラス主体草地	1区100㎡

供試薬剤：スミチオン乳剤 1000倍液 10a当り100lを動力噴霧器等で散布。

*：()内の数値は処理後日数を示す。

ムギダニの吸引採取：試験1~5では乾電池式自動車用クリーナーを用い、試験6では吸虫管を用いて行なった。

表-2 薬剤散布前後のムギダニ生息数の変化(頭/㎡)

試験区分	区	処理前	処理後
試験1	処理区	5824	304(5)
	対照区	3104	3088
試験2	処理区	1200	144(9)
	対照区	928	1184
試験3	処理区	1536	432(25)
	対照区	2064	2368
試験4	処理区	1700	600(10)
	対照区	2822	9722
試験5	処理区	325	25(14)
	対照区	225	125
試験6	処理区	133	0(0)
	対照区	156	78

()内の数値は補正密度指数を示す

表-3 春季の薬剤防除後のムギダニ生息数の変化(頭/㎡)

区	4/30	11/10	11/19
春季防除区	304	200	544
無処理区	3088	568	2512

試験1の圃場内で調査を継続